厳しい冬の寒さがやわらぎ、春の暖かな陽ざしが心地よく感じられる季節となりました。桜のつぼみも膨らみ、皆さんの新しい旅立ちを祝うかのように、自然が息づいています。

今日ここに、小学部・中学部の卒業生の皆さんの晴れの日を、卒業生及び在校生、教職員一同でお祝いできることを大変嬉しく思います。また、保護者の皆様におかれましても、お子さまの成長を見守り、支えてこられたことに心より敬意と感謝を申し上げます。

皆さんと共に過ごしたこの一年は、私たちを取り巻く環境や世界が劇的に変化した年でした。スマートフォンや人工知能などの新しい技術は、私たちの生活を便利にし、遠くの人とも簡単にコミュニケーションできるようにしてくれます。こうした技術は、皆さんが未来の社会で活躍するための大きな力となるでしょう。

しかし残念ながら、世界のあちこちでは争いが続き、人々の心の間に壁ができてしまっています。価値観や文化の違いから理解し合えずに争ってしまうこともあります。そんな現状にあって私たちは、違いばかりにとらわれるのではなく、お互いの共通点や仲間としての絆を大切にしなければなりません。偏見や差別をなくし、みんなが安心して暮らせる社会を築くことこそ、これからの時代に生きる私たちの大切な使命です。

だから皆さんは、これからも相手の話をよく聞き、思いやる心を忘れずにいてください。そして、自分の気持ちも素直に伝えることを大切にしてください。違いを認め合い、仲間と支え合うことで、明るく豊かな未来をつくり出す力となるのです。

さて、小学部の卒業生の皆さん。みなさんは小学部で毎日少しずつ新しいことを学び、できることがどんどん増えました。友達と遊んで笑い合い、先生と一緒に頑張る姿は頼もしく、成長の証です。これからは中学部で、もっと多くの学びが待っています。新しい友達や先生と出会い、さまざまな経験を通して、自分の可能性を広げていってください。

中学部の卒業生の皆さん。皆さんは困難な時もあきらめずに挑戦し、自分らしさを大切にして多くの経験を積み重ねてきました。その努力と成長は、これからの人生の大きな財産となります。高等部や社会に向けて歩みだすその一歩一歩を、自信を持って踏みしめてください。家族や先生、友達との絆も忘れずに、それが皆さんの強さとなるでしょう。

新しい生活を始めるにあたって、不安や期待、いろいろな気持ちが交錯するかもしれません。そんなときは、今まで共に泣き笑いしてきた仲間や、大切に思う人のことを思い出してください。皆さんにはそれだけの支えがあります。自信を持って歩み続けてください。

最後に、保護者の皆様に改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆様の温かい支援があってこそ、卒業生の皆さんは今日の日を迎えることができました。これからもどうぞ見守り、励ましてくださいますようお願い申し上げます。

そして、本日、卒業証書の授与はかないませんでしたが、私たちの心に、いつも暖かい日向を作ってくれた大切な仲間にも、感謝の気持ちをささげます。

卒業生の皆さんの未来が、希望と輝きに満ちあふれたものであることを、心より願っています。

令和八年三月十九日

埼玉県立日高特別支援学校長　佐藤　康成